

授業科目名 (英文名)	流通システム論 (経営学部・専門科目) (Theory of Distribution Systems)	科目区分 対象学生	
単位数	4.0	開講年次・ 学期	2
担当教員	池田 敦	所属	
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	流通システムの編成様式とその動態を理解するために必要な基本概念と理論的枠組みを習得し、流通システムの進化の方向性を展望できる能力を獲得する。		
講義内容・授業計画	<p>(講義内容)</p> <p>第1部【1-6】で商業・流通研究の基本概念を学習する。第2部【7~15】では、流通システムを構成する企業間の取引関係を考察・理解するために必要な基本概念を学ぶとともに、取引関係の歴史的変容過程について理解を深める。第3部【16~24】では、近代小売商業の発展過程と小売商業を対象とした公共政策 (小売商業政策) の歴史的展開過程について学ぶ。第4部【25~29】では、小売国際化とe-コマースに焦点を当て流通システムの進化の方向性を展望する。</p> <p>(授業計画)</p> <p>【第1部 商業・流通研究の基本概念】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ガイダンス 2 市場経済における流通システムの役割 3 商業の存立根拠 4 日本の小売商業構造 5 日本の卸売商業構造 6 商業の多段階構成と商品の流通チャネル <p>【第2部 流通チャネルの動態】</p> <ol style="list-style-type: none"> 7 流通チャネルにおける企業間の取引関係とパワー関係 8 メーカー主導型流通チャネルの形成と変容 (1) 9 メーカー主導型流通チャネルの形成と変容 (2) 10 情報通信技術の発展とサプライチェーン・マネジメントの進展 11 大規模小売企業の成長と製販連携の進展 12 延期型サプライチェーンの形成 13 小売商業の構造変化と卸売商業の再編 14 (補説) 流通取引に関わる独占禁止政策 (1) 15 (補説) 流通取引に関わる独占禁止政策 (2) <p>【第3部 小売商業の動態】</p> <ol style="list-style-type: none"> 16 小売業態の発展史 (米国編 1) 17 小売業態の発展史 (米国編 2) 18 小売業態の発展史 (日本編 1) 19 小売業態の発展史 (日本編 2) 20 小売商業集積の盛衰 (1) 21 小売商業集積の盛衰 (2) 22 日本の小売商業政策 (1) 23 日本の小売商業政策 (2) 24 まちづくり政策の展開 <p>【第4部 流通システムの進化の方向性】</p> <ol style="list-style-type: none"> 25 小売商業の国際化 (1) 26 小売商業の国際化 (2) 27 e-コマースの進展 (1) 28 e-コマースの進展 (2) 29 流通システムの進化の方向性 30 復習と補足 31 期末試験 		
テキスト	使用しない。		
参考文献	(1) 田村正紀『流通原理』千倉書房、2001年。		

	(2) 石原武政・矢作敏行編『日本の流通 100年』有斐閣、2004年。 (3) 渡辺達朗・原頼利・遠藤明子・田村晃二『流通論をつかむ』有斐閣、2008年。
成績評価の基準・方法	中間レポート(20%)と講義内容の理解度をみる期末試験(80%)によって評価する。
履修上の注意・履修要件	参考文献を自習し、問題意識を深めてほしい。
実践的教育	該当しない。
備考	中間レポートの課題・提出要領については授業中に指示する。